

播磨町スポーツ推進委員会だより

わいわいスポーツ広場

第48回 播磨町ロードレース大会

1月25日(日)、播磨町新春恒例のロードレース大会が行われました。元女子バレーボール日本代表選手の益子直美さんをゲストにお呼びし、西脇工業高校の陸上部をはじめ、全国から多くの参加者と共に元気よく走ることができました。今年も播磨町の新島を舞台に開催され、天候にも恵まれながら、ファミリーの部の小さい子どもたちから年配の方まで、最後まで一杯走る姿が見られました。参加者はメイン会場の飲食ブースやお楽しみ抽選会なども楽しみ、大会は大いに盛り上がりました。



【各小学校(参加者)からの声】

蓮池小学校 6年 池部 梓

私は今年初めてロードレース大会で走りました。これまでは短い距離を走ることが多く、1.5kmの道を走るといことは自分にとって大きな挑戦となりました。走り切るのと思っていたよりも簡単なことではなく、練習では疲れたな、しんどいな、とずっと思っていました。ですがロードレース大会本番で走り切った頃には、不思議と楽しいと思えました。これは自分の努力と挑戦の積み重ねだと思います。私はこれからも練習を重ね、挑戦し続けます。

播磨小学校 4年 高野 聖大

この大会でがんばったことは、少しでも順位をあげるために足を全力で前におし出しました。そうすると、だんだんなれてきてスピードが上がって向かい風が気持ちよかったです。はじめは前の人のがはやくてあきらめかけたけど、自信をもって走ると、どんどん楽しくなってきた、楽しんで走れたので、また機会があったらもう一度出たいです。

播磨南小学校 4年 松浦 寿弥

1.5キロは長くてきつかったけど、みんなの応援で力がわいてきて、12位になれたのがとてもうれしかったです。(町内賞では3位) 走る前はドキドキしたけれど、最後まで走りきったら楽しかったので、また走ってみたいと思いました。次はもっといい順位をとれるように、これからもあきらめずがんばりたいです。

播磨西小学校 4年 長井 倫・長井 蘭・岸 てらす・徳光 七海

私たちは、友達と一緒にファミリーの部に出場しました。少しでも速く走りたいので、前の方でスタートを待ちました。ピストルの音が鳴って、「去年よりタイムを縮めるぞ!!」という気持ちで走り始めました。1.5kmは長かったけど、友達と一緒に走ったから最後まで走り切れました。去年のタイムより速くなってうれしかったし、ゴールした後の飲み物はとてもおいしかったです。みんなで走ってとても楽しい一日でした。来年もみんなと一緒に楽しく走りたいです。

蓮池小学校 4年 田口 岳

僕は2年前、病気のため車いすで出場し、自分の足で走ることができませんでした。しかし、今回のロードレース大会では2年ぶりに自分の足で走れたこと、そしてゴールできたこととても達成感がありました。また、来年もロードレース大会に出場するチャンスがあれば挑戦したいと思っています。

播磨小学校 3年 福田 大翔

ロードレース大会のために、ほくはたくさん練習をしました。なくほど練習しました。そのおかげで、ロードレース大会でいい成績をだせた。ほくは、陸上を習ってないけど、努力をしたら、いい成績を出すことができました。努力は自分をうらぎらないと思った。次のロードレース大会も楽しみです。

播磨南小学校 6年 浅原 琉生

ロードレース大会では、苦しくなってもあきらめずに最後まで全力で走りきることができました。結果は全体で12位、町内では2位という成績を取ることができてとてもうれしかったです。あと少しで前の人に追いつけそうだったことを思うと悔しさも残りました。この悔しさを力に変えて、来年はさらに上の順位を目指して行きたいです。

播磨西小学校 3年 飛鷹 奏

私は、今回が2回目の参加でした。レースの前には、お父さんと3kmをはしるなど、たくさん練習をしました。スタート前はすごく緊張したけれど、練習の成果が出せるように頑張りました。周りの人はみんな走るのが速くて、「もうダメだ」と思いました。だけど、折り返し地点にお父さん、坂の手前におじいちゃん、ゴールのすぐ近くにお母さんがいて、応援してくれました。力がたくさん湧きました。なので、最後まであきらめずに本気が出せました。結果、3位になれてとてもうれしかったです。



大会結果 町内賞



1.5km 小学1・2年男子

1位	長野 央都	6分08秒
2位	長野 玲央	6分16秒
3位	福永 煌人	6分18秒

1.5km 小学5年男子

1位	石野 蒼真	5分58秒
2位	淡野 桔平	6分07秒
3位	高野 聖大	6分09秒

1.5km 小学1・2年女子

1位	常本 千歳	7分00秒
2位	大西 真愛	7分10秒
3位	吉川 茅早	7分22秒

1.5km 小学5年女子

1位	角 雛名	5分23秒
2位	下山 皐	5分45秒
3位	進藤 さよ	5分58秒

1.5km 小学3年男子

1位	中原 龍馬	6分33秒
2位	福田 大翔	6分39秒
3位	藤岡 瑛太郎	6分41秒

1.5km 小学6年男子

1位	飛鷹 颯	5分28秒
2位	浅原 琉生	5分42秒
3位	山口 寛人	5分44秒

1.5km 小学3年女子

1位	飛鷹 奏	6分25秒
2位	藤原 希穂	6分34秒
3位	藤田 藍華	6分46秒

1.5km 小学6年女子

1位	小松 万桜	5分44秒
2位	折田 博愛	6分13秒
3位	増井 玲葉	6分17秒

1.5km 小学4年男子

1位	島田 大輝	5分36秒
2位	長谷川 奏	6分00秒
3位	松浦 寿弥	6分11秒

3.0km 中学男子

1位	松下 慶冴	9分16秒
2位	永井 航晴	10分07秒
3位	堀 和翔	10分58秒

1.5km 小学4年女子

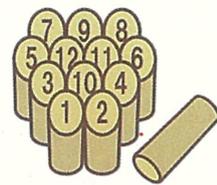
1位	小林 璃音	6分15秒
2位	田中 陽央梨	6分17秒
3位	清田 渚羽	6分20秒

3.0km 中学女子

1位	花神 未来	10分20秒
2位	西川 百音	10分50秒
3位	角 曜帆	11分42秒



モルックコーナー



みなさんは、モルックというスポーツをご存じでしょうか？ モルックはフィンランドのカレリア地方の伝統的なキッカというゲームを元にして1996年に開発されたスポーツだそうです。老若男女障がいの有無に関係なく、誰もが同じフィールドで楽しめる競技です。

今回は、「モルック」をぜひ知っていただき、播磨町のイベントや地域のイベントで楽しんでもらえればと思います。

使用する道具

モルックで使用する道具は、3つです。

- ① モルック…投げる棒のこと
- ② スキットル…1～12の数字が書かれた木製のピン
- ③ モルッカーリ…投げる位置を示すもの
3～4mほど離れます
(モルッカーリは、地面に線を引くなどで代用可能です)

3つの道具があれば、まずは遊ぶことができます。



スキットル



ルール

最終ゴールは、得点を足していき、ピッタリ50点になったら勝ちです。

①二つのチームにわかれ、1人がモルックを投げてスキットルを倒します。

②倒れたスキットルから、得点を計算します。

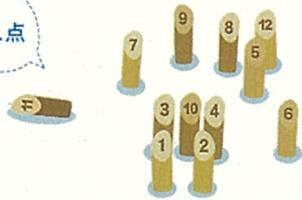
★得点の数は、1本だけ倒れた時は、書かれている数字が得点になります。2本以上倒れた時は、倒れた本数が得点になります。

③倒れたスキットルは、その場に立て直し、相手チームに順番が移ります。

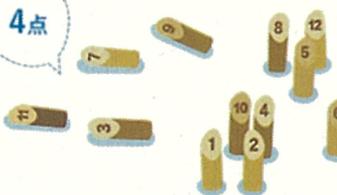
④これを繰り返し、各チームが得点を足していき、50点を目指します。

各チーム50点を超過してしまうと25点に戻ってしまうといったルールもありますので、詳しいルールについては、掲載しているQRコードを読み取っていただき、「日本モルック協会」公式ホームページをご覧ください。

11点



4点



「日本モルック協会」公式ホームページ

播磨町スポーツ推進委員として「はりま春風フェス」「大中遺跡まつり」「ふるさとまつり」などでブースを出展しています。その中で、モルック体験コーナーもさせていただいたこともありますので、興味をもっていただき、ぜひ来ていただければと思います。



輝け! 播磨町のアスリート

突撃インタビュー

播磨町では、小さいお子さんからお年寄りの方までたくさんの方が楽しく運動をしています。その中には、全国で活躍している人もたくさんいます。

今回は、ボウリングで素晴らしい成績を収めた **黒石あい** さん について紹介します。

ボウリングとは？

ボウリングは、重いボールを転がして、レーンの先にある 10 本のピンを何本倒せるか競うシンプルなスポーツです。子どもから大人まで誰でもできる、みんなで楽しめる競技です。

【これまでの主な成績】

- 2024年 のじぎくスポーツ大会 少年女子優勝
- 2025年 のじぎくスポーツ大会 少年女子優勝
- 2025年 全国障害者スポーツ大会 少年女子優勝



Q1 競技を始めたきっかけは？

高校3年の時に、のじぎくスポーツ大会にチャレンジしたことがきっかけです。

Q2 どんなところが楽しいですか？

スペアやストライクが取れた時に、スコアが上がっていくところが楽しいです。

Q3 どんな気持ちで試合に臨みますか？

落ち着いて集中してピンをねらうことができています。

Q4 一番の思い出は何ですか？

全国大会に初出場して、初優勝できたことです。

Q5 今後の目標は何ですか？

今年は青森県の全国大会に出場することを目標にがんばります。

スポーツをがんばるみなさんへメッセージ

練習はしんどくて大変ですが、練習をがんばって、本番で最高のパフォーマンスを見せられるようにがんばりましょう！

黒石あいさんの今後のさらなる活躍を期待しています！